

経営比較分析表（令和6年度決算）

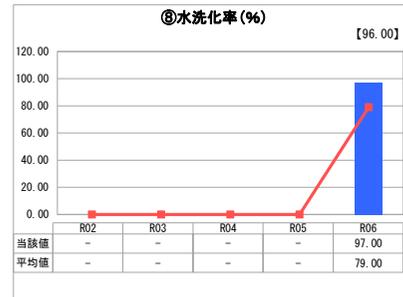
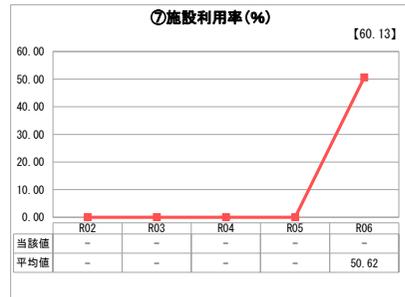
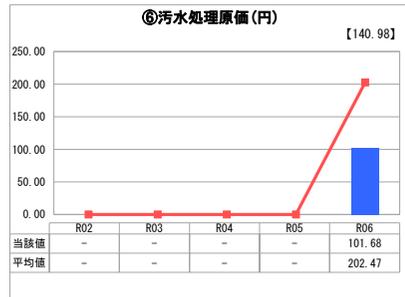
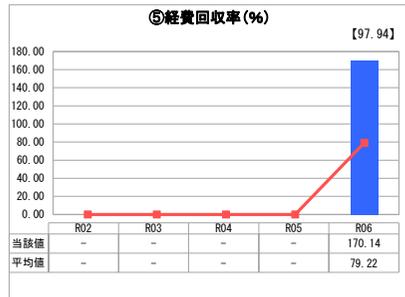
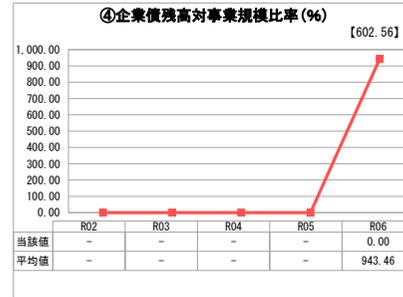
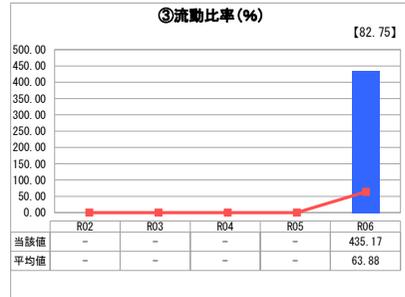
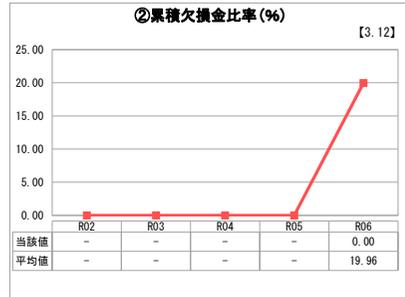
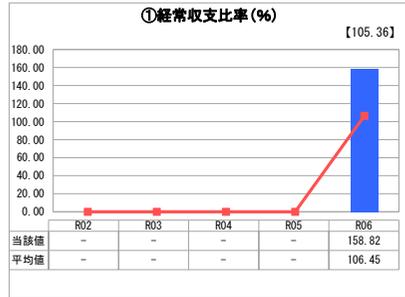
埼玉県 吉見町

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	下水道事業	公共下水道	Cc2	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20m ³ 当たり家庭料金(円)
-	88.48	14.27	100.90	2,145

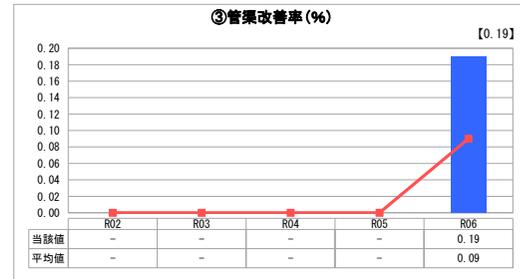
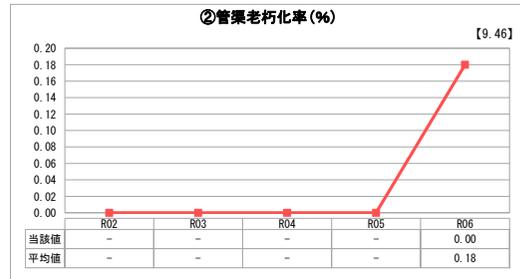
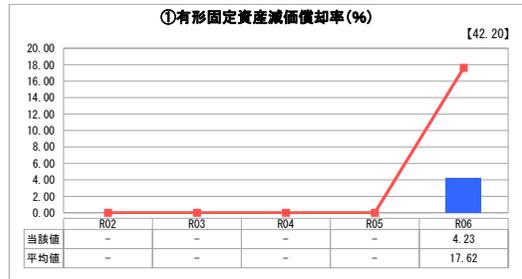
人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
17,620	38.64	456.00
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km ²)	処理区域内人口密度(人/km ²)
2,500	0.99	2,525.25

グラフ凡例
■ 当該団体値(当該値)
— 類似団体平均値(平均値)
[] 令和6年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

- ① 経常収支比率
類似団体平均を上回っているが、一般会計からの繰入金に依存した経営となっているため、経営の効率化及び自己財源の確保に向けた取組が必要である。
- ② 累積欠損金比率
累積欠損金は発生していない。
- ③ 流動比率
100%を大きく超えているが、今後も企業債の償還は続いていくため、現金等の確保に向けた取組が必要である。
- ④ 企業債残高対事業規模比率
企業債残高に対する一般会計への依存度が高いことから比率は0%となっている。
- ⑤ 経費回収率
100%を大きく超えており、汚水処理費を使用料で十分に賄えている状況である。しかし、物価高騰等の影響により汚水処理費も年々高騰していることから今後も堅実な経営を行っていく。
- ⑥ 汚水処理原価
類似団体平均及び全国平均を下回っているが、今後、汚水処理費の増加が見込まれることから、有収水量の維持に努める。
- ⑧ 水洗化率
類似団体平均及び全国平均を上回っている。今後も接続促進に努める。

2. 老朽化の状況について

- ① 有形固定資産減価償却率
類似団体の平均値を下回っている。ストックマネジメント計画をもとに資産管理を行っていく。
- ② 管渠老朽化率
法定耐用年数を超えた管渠はない。今後は更新需要が高まり数値が上昇することが見込まれる。
- ③ 管渠改善率
類似団体平均よりも高く、全国平均と同率となっている。老朽管の状態を把握し、効率的かつ効果的に更新・改善を進めていく。

全体総括

経常収支比率が高く、経常的収入が経常的支出を上回っている。また、経費回収率も高いことから、収入をもって適切に経常的な支出を賄っている状態である。その一方で、一般会計からの繰入に依存している傾向も強く、使用料改定の検討を踏まえ、経営改善を図っていく。

※ 「経常収支比率」、「累積欠損金比率」、「流動比率」、「有形固定資産減価償却率」及び「管渠老朽化率」については、法非適用企業では算出できないため、法適用企業のみ類似団体平均値及び全国平均を算出しています。